

平成28年12月から 洗濯表示が 変わります。

5つの基本記号と付加記号の組合せで表示されます。



洗濯のしかた

例



液温は40℃を限度とし、洗濯機で弱い洗濯ができる



漂白のしかた

例



塩素系及び酸素系漂白剤の使用禁止



乾燥のしかた

例



日陰のつり干しがよい



アイロンの
かけかた

例



底面温度200℃を限度としてアイロン仕上げができる



クリーニングの
種類

例



石油系溶剤によるドライクリーニングができる

▼ 5つの基本記号



▼ 付加記号

強さ	線なし 通常	— 弱い	== 非常に弱い	× 禁止
温度	● 低い	●● ← →	●●● 高い	

新しい表示を覚えて大切な衣類を正しく取り扱しましょう。

詳しくは右記のQRコードを読み込んでいただくか、URLをご覧ください。

プレスリリース『家庭用品品質表示法に基づく繊維製品品質表示規程の改正について』—衣類等の洗濯表示が変わります—

http://www.caa.go.jp/hinpyo/pdf_data/150331_kouhyoubun.pdf



必ず
チェック!

参考情報（付記用語）

新しい「取扱い表示」は世界で共通に使用できるように、記号内には日本語などの文字はありません。記号以外の参考情報については簡単な言葉で記号のそばに付記される場合があります（付記用語）ので、必ずチェックしましょう。

例

「洗濯ネット使用」 洗濯用ネットに入れてから洗濯します。

「弱く絞る」 洗濯機で短時間の脱水を行うか、タオルなどに挟んで水分を取ります。

「あて布使用」 薄手の布で覆った上からアイロンを掛けます。

「裏返しにして洗う」、「同系色と一緒に洗う」など

Q&A

Q1. 「手洗い記号」の衣類は洗濯機の「手洗いコース」などで洗えますか？

⇒洗濯機の取扱説明書やメーカーのウェブサイトなどの情報を参考に「手洗いコース」などが、手で押し洗うなどの「手洗い記号」に対応しているかどうかを確認しましょう。

Q2. 「」の衣類を、家で洗えますか？

⇒家で洗うことはできません。

Q3. 「タンブル乾燥」とは何ですか？

⇒乾燥機の中で、洗濯物を回転させながら温風で乾燥する方法です。

家庭用タンブル乾燥機の例



●「取扱い表示」やタグなどは、洗濯や手入れの情報源です。しっかり読みましょう。

●衣類の購入時にも「取扱い表示」を確認して、洗濯の参考にしましょう。

●「取扱い表示」を正しく理解して洗濯の仕方を見直しましょう。



（本パンフレットに関する問合せ先）

・JIS規格に関しては、経済産業省 国際標準課

電話：03-3501-9277

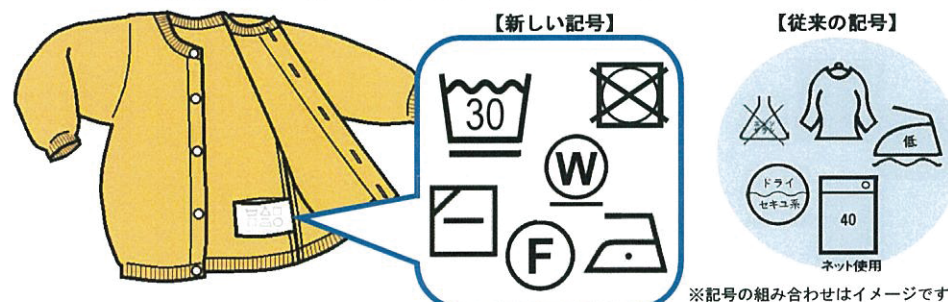
・家庭用品品質表示法に関しては、消費者庁 表示対策課

電話：03-3507-9205

平成28年
12月1日からの

新しい！ 衣類の「取扱い表示」

（繊維製品の取扱いに関する表示記号及びその表示方法 JIS L 0001）



※記号の組み合わせはイメージです。

● 記号のデザインが新しくなります。

基本の記号に、線「—」や点「・」などの付加記号や数字を組み合わせで表します。

*世界で共通に使用されているISO（国際規格）の記号と同じになりました。記号内に日本語は記載されません。

● 記号の種類が増えます。

これまでの「JIS（日本工業規格）取扱い絵表示」にはなかった記号が追加されて、より細かな表示に変わります。

*酸素系漂白剤やタンブル乾燥、クリーニング業者によるウェットクリーニングなどの記号が追加されます。

● 表示は取扱い方の上限を表しています。

表示よりも強い作用や高い温度での洗濯やアイロン掛けは、衣類にダメージを与える可能性があります。

● 参考情報が簡単な用語で付記される場合があります。

記号だけでは伝えられない参考情報は、簡単な言葉で記号の近くに記載される場合があります。

知ろう！

新しい「取扱い表示」の記号と意味

家庭での洗いや



家庭での洗いや（洗濯機洗いや、手洗いや）です。

「40」などの数字は洗濯温度の上限です。

*左の場合は「40℃以下」で洗います。「一」は「線なし」よりも弱く、「二」は更に弱い洗濯機での洗いやです。



押し洗いやなどの、「手洗いや」で洗います。一番優しい洗いやです。上限温度は40℃です。



家庭での洗濯はできません。

漂白



漂白ができます。

△ 塩素系漂白剤も酸素系漂白剤も使えます。
△ 酸素系漂白剤のみが使えます。
*酸素系漂白剤は、ほとんどの色柄物に使える漂白剤です。

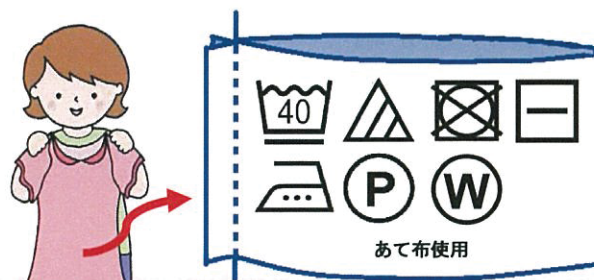


漂白剤は使えません。

△は柄柄にも使える漂白剤！と覚えてくださいね。



例えば、このように表示されます。



*家庭洗濯→漂白→乾燥→アイロン→クリーニングの順に記載されます。

乾燥

タンブル乾燥

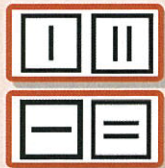


家庭用のタンブル乾燥機が使えます。記号内の「点（・）」は乾燥温度を表します。「・・」はヒーターを「強」などに設定します。「・」はヒーターを「弱」などに設定します。



タンブル乾燥はできません。

自然乾燥



「つり干し」をします。
*ハンガーにかけか、小物干しなどに吊るして干します。
「平干し」をします。
*平らな場所に広げて干します。



*四角の中の「1本線」は脱水して、「2本線」は脱水せず（絞らず）に干します。



「斜線」はひさしや屋根を表しているため陰干しをします。

つり干しは衣類をタテ！平干しはヨコ！と、線の向きでイメージしてみてください。



アイロン仕上げ



アイロンをかけることができます。記号内の「点（・）」の数はアイロンの底面温度の上限を表します。

「・・・」200℃まで
「・・」150℃まで
「・」110℃まで

「・」は、増えると温度が高くなるので、「点灯」と覚えてくださいね。



アイロンは掛けられません。



クリーニング店での洗いや

ドライクリーニングができます。

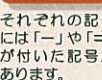


① パークロロエチレンなどの溶剤を使用します。

② 石油系溶剤を使用します。



ウェットクリーニングができます。
*クリーニング店が特殊な技術で行うプロの水洗いや仕上げによる洗濯です。



③ Wがあれば、④でも、クリーニング店で水洗いやができます。ただし、家庭では洗えませんよ。



ドライクリーニングはできません。



ウェットクリーニングはできません。



記号の構成

基本記号に、付加記号や数字を組み合わせて表します。

5つの基本の記号



付加記号と数字

強さ（基本記号の下に付加）

線なし 通常の強さ
一線 弱い
二線 非常に弱い
「線（一）」が増えるほど弱くなります。

温度（基本記号の中に付加）

<記号によるもの>
「・」「・・」「・・・」
低 → 高
タンブル乾燥やアイロンの温度は「点（・）」で表します。数が増えるほど温度は高くなります。

【例】 40

禁止



基本記号と組み合わせて、禁止を表します。